

大人の発達障がい（が疑われる）従業員への対応・活かし方

liaison aide

課題 problem

近年「大人の発達障がい」が知られるようになりました。

「発達障害」は生来の特性ですが、学校生活は大きな問題なく過ごし、就業してから業務や対人関係で、問題が顕在化する人たちについてこのような表現がなされます。

彼らは、認知や行動の特性により「常識がない」、「空気が読めない」、「落ち着きがない」、「見通しが甘い」などといわれ、「困った人」とみなされることが少なくありません。

また、うつや適応障害と診断された人たちの中には、背景に発達障がい的な傾向があり、二次障害としてメンタルヘルス不調に陥った人が相当数含まれています。通常の採用過程を経て就労している、つまり医療や福祉の対象となるほどではないため、かえって職場では「扱いづらい」という現状があります。

* 便宜上「大人の発達障がい」と呼んでいるが、診断名ではない

* 診断としての「発達障害」と区別するため、ここでは「障がい」と表記

提案 solution

一般就労枠で採用されている方たちにも「合理的配慮」をし、対応や支援のあり方、様々な特性との付き合い方を検討していく必要があります。

「支援」という枠組みではなく、その特性をいかに活かし、業務遂行能力や職場への適応を高め、活躍していただくか、という視点・切り口からコンサルテーションいたします。

アプローチ approach

・研修

タイプ別の特性を学びます。それについて一般的に得意なこと・苦手とされることを知り、業務上の工夫や配慮、特性を活かした業務内容やコミュニケーションについてお伝えします。

・コンサルテーション

問題点の整理と課題を洗い出し、誰が何に困っているのかを明らかにします。ご本人の困り感が少なく指摘や介入が難しい場合は、周囲のストレスの軽減を図りつつ、工夫できるところはないか探ります。

・個別支援

ご本人に自覚がある、あるいは部分的にでも困っているところがあれば、直接アプローチすることを検討し、問題解決へのアクションプランを一緒に考えていきます。

無断転載禁止

合同会社 **liaison aide** (リエゾンエイド)

[TEL] 03(6869)7321 [MAIL] info@liaison-aide.net

[URL] <http://www.liaison-aide.net>

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15 ウィン青山 942